

地域経営推進費 事業評価結果一覧表

県北広域振興局

	名称		金額		事業コード			評価結果
No.	事業名	事業主体	事業費 (円)	推進費 (円)	事業性質	事業小区分	種別	事業実施主体による評価
1	いわて北三陸⇄中心市街地シャトルバス運行事業	久慈市	2,542,100	1,456,000	5 市町村事業	3 観光産業	ソフト	道の駅「いわて北三陸」について、久慈北インターチェンジの近接立地による利便性の高さから、開業から1年を経過した大型連休の公休日においても1日あたりの平均来場者が1万人を超える結果となり、その集客力を改めて実感したところである。 公共交通機関の利用ニーズは想定を下回ったところだが、当該施設が存在が三陸沿岸道路の利用者を久慈市に立ち寄せた実績は明確であることから、当該施設を玄関口とする中心市街地への誘客に向けて、今後の更なる工夫により、施設の設置効果の拡充を図ることとする。
2	久慈市中高生海外派遣研修事業	久慈市	5,339,349	2,777,000	5 市町村事業	12 NPO・コミュニティ	ソフト	中高生の派遣人数は目標人数の5名を派遣することができた。 5年振りの事業実施となったが、久慈市国際姉妹友好都市であるフランクリン市との交流を通して、見聞を広め、広い視野を養い、今後の国際社会において地域貢献を担う生徒の育成に寄与された。 また、海外派遣研修を終えた後は市民を対象に報告会を行い(参加者44名)、研修で得た成果を発表して地域への還元を行い、国際社会参加意識の高揚が図られ、ひいては姉妹都市の認知度アップにも繋がったものと捉えている。引き続き、姉妹都市の認知度アップを図りながら、より一層充実した事業となるよう支援を行う。
3	ロケ地連携情報発信・交流事業	久慈市	495,000	269,000	5 市町村事業	3 観光産業	ソフト	応援マネージャーののんさんが取材に出向いた様子を掲載したことで、実際に取材場所を訪れる観光客もあり、観光振興と誘客に寄与するものであった。通常の観光ガイドブックよりも手に取る人が多かったと感じている。 この取り組みにより、観光で一度訪れるだけでなく、リピーターとなり当地域を訪れていただき、関係・交流人口の拡大に繋げたい。
4	琥珀と恐竜化石を活かしたまちづくり事業	久慈市	2,363,049	1,575,000	5 市町村事業	3 観光産業	ソフト	成果指標は目標に達し、琥珀と恐竜化石を活かしたまちづくりについて市民の認知度の向上は図られている。 まちづくり直送便を利用し、琥珀と恐竜化石を活かしたまちづくり事業に関する講演を、市内小学校から依頼され実施した。関心が高まっていることの表れであり、引き続き子供から大人まで認知を広め、さらに効果的に事業を実施していく。
5	ギンザケ養殖施設リース補助金	久慈市	6,733,000	3,673,000	5 市町村事業	6 農林水産業	ソフト	事業開始以降、着実に目標を上回る成果を上げている。 ギンザケ養殖事業は、久慈市における新たなチャレンジであり、リスクを伴う事業であることから、事業開始直後の運営を支えるため引き続き支援を行う。
6	アンバーホール合唱祭	久慈市	297,556	192,000	5 市町村事業	15 その他圏域の課題解決	ソフト	今回の合唱祭は、約10年ぶりの開催でありながら、市民や関係団体からの高い関心と協力を得て、大変意義深いものとなった。コロナ禍により長らく活動が制限されていた合唱団体にとって、発表の場を持つことは、団体活動再開への契機となるとともに、活動継続への意欲の向上にもつながった。 また、合唱ワークショップと連動する形での実施により、初心者や若年層を含む幅広い層が参加できる体制が整い、合唱の裾野を広げる機会にもなった。特に、沿岸地域の高校生による特別出演は、地域間の文化的連携を生む契機となり、今後の広域的な交流展開に向けた基盤づくりとしても評価できる。 これらを踏まえ、本事業は単なる催事に留まらず、地域に根差した合唱文化の振興と新たな担い手育成、そして世代・地域を越えた「つながり」の創出を体現したものである。来年度以降も継続して開催し、より多様な世代・地域からの参加を得られるような体制の整備とPRの強化を図っていきたい。
7	鵜鳥神楽国指定10周年記念事業助成金	普代村	1,555,000	1,036,000	5 市町村事業	15 その他圏域の課題解決	ソフト	巡行やイベントへの出演は例年行っていることだが、大きな会場で公演することで、巡行には行きにくい方や村外の方などが鑑賞できる機会となった。記念公演で多くの来場者があることは保存会活動のモチベーションとなり、記録誌を配布することで鵜鳥神楽への興味や学びが深まり、これからも継続していく伝承活動にプラスとなる事業だった。
8	恋する灯台プロジェクト推進事業	普代村	1,026,466	684,000	5 市町村事業	3 観光産業	ソフト	初の開催ながら71作品の応募があり、全国からの参加も見られた点は評価できる。一方で、募集開始の遅れにより応募期間が短縮され、参加者数が目標に届かなかった点は課題である。宿泊者数は観光利用全体では目標を達成したが、コンテストが直接寄与したとは言い難く、宿泊プランの導入が今後の検討課題となる。黒埼灯台の認知度向上には一定の成果があり、今後は更なる誘客促進の仕掛けを強化していく必要がある。

地域経営推進費 事業評価結果一覧表

9	昆布ブラザーズPR事業	普代村	2,106,755	1,404,000	5 市町村事業	3 観光産業	ソフト	昆布ブラザーズ生誕10年を記念し、地域の賑わい創出と関係人口の拡大を目的に開催。ゆるキャラを活用した広域交流や地場産品のPRが実現し、普代村の魅力発信に貢献した。一方、来場目標が高すぎたことや、11月末の寒さ・強風による影響が課題として残った。 今後は天候リスクを考慮した開催時期や会場の工夫、集客施策の強化が求められる。全体としては、多くの参加者と交流が生まれ、地域活性化に一定の成果をもたらした。
10	普代村地域特産品魅力発信事業	普代村	1,850,000	1,233,000	5 市町村事業	2 食産業	ハード	今回事業を実施したことにより、新たに冷凍自販機で販売することを想定した新商品に係る事業者の動機付け及び付加価値向上の意識醸成につながった。また今後商品を凍結することにより消費期限を延長する観点ばかりではなく、急速冷凍技術の活用など新たな取り組みを行って行きたい。
11	追手門学院大学との学官連携推進事業	普代村	781,979	521,000	5 市町村事業	15 その他圏域の課題解決	ソフト	追手門学院大学との学官連携推進事業は、今年で10年目となり「普代水門絵本」をはじめ、様々な成果品等の制作を実施してきた。今年度成果品である鶴鳥神楽の英語版リーフレットを鶴鳥神楽のイベント等で活用し、今後、修正等模索しつつ成果品の完成度を高めていく。また、長期計画案を検討する事で取り組み内容の明確化を図り、長期にわたり連携事業の交流を図っていく。
12	道の駅青の国ふだい開業周年記念イベント支援事業	普代村	1,693,130	333,000	5 市町村事業	9 防災・危機管理	ソフト	ふだいまつりと同時開催としたことで各イベントを単独開催するよりも内容の充実が図られ、イベント全体での来場者の増加につながり地域活性化と村内経済循環に寄与することができた。また、イベント来場者が震災パネル展示にも立ち寄ることから、防災意識を高めるイベントとしての効果も高い。 一方で、道の駅としての売り上げにもつながるよう、商品企画や販売方法等について今後更なる工夫が必要である。
13	「誇れる地域資源を生かした産業・文化・防災」総合情報発信事業	普代村	5,978,784	1,023,000	5 市町村事業	15 その他圏域の課題解決	ソフト	3年目となった本事業では、震災学習の受入数が増え、震災の記憶と教訓を多くに方々に伝えることができた。また、引き続きラジオを活用して、村の旬な話題や伝統文化、村民紹介、イベント情報など、番組やCMを通じて村内外へ情報発信することができた。リスナーメッセージをみると、毎年あるいは毎回聴いていただいた方々も多く、ラジオの活用促進にもつながったと考えられる。
14	黒崎キャンプ場施設整備事業	普代村	3,916,000	2,610,000	5 市町村事業	3 観光産業	ハード	腐食していたベンチ・テーブルを撤去(新設)することで、施設の利便性や景観も向上し、木造から擬木にすることで従来よりも長期間で使用することができる。 今後のレジャーシーズンにおいて多くの利用者が訪れることが期待される。
15	山村地域(横合地区)課題検討事業	野田村	1,472,900	981,000	5 市町村事業	12 NPO・コミュニティ	ソフト	当該事業は、NPO法人SETに委託し実施したもの。交流した住民の中には毎月訪れるSETとの再開を待ち望んでいる住民がいるなど、プログラムの構築・実施における土壌の育成がなされていたと感じた。 また、実施にあたり大学生などの若い世代も横合地区との交流に自発的に参加し、プログラムの構築を進めていたことから、担い手となる若者が生まれるきっかけが生まれているとも思えた。
16	多職種連携教育事業	野田村	2,414,656	1,609,000	5 市町村事業	12 NPO・コミュニティ	ソフト	本村で数多く行われている全国各地の大学によるフィールドワークの中でも、目的や参加のターゲットが明確なものであり、人材確保、関連団体との関係構築、交流人口など、多面的な効果が期待できる。効果の最大化を図る観点から、持続性の確保も考慮し進めるべき内容と評価する。
17	十府ヶ浦海岸活用促進事業	野田村	3,740,000	2,493,000	5 市町村事業	3 観光産業	ソフト	地域の子どもたちをはじめとする村民が地元の自然に安全に触れる環境を整備することによる地域への更なる愛着醸成と観光振興として十府ヶ浦海岸を利用することによる野田村の認知度向上等の多面的効果があった。また、今年度は機械破損によりお盆期間にオープンすることができなかったことから、帰省客からの問合せが多く寄せられた。そのため、地域の子どもだけでなく、帰省客からのニーズもあると感じた。 更なる地域への愛着醸成や認知度向上を目指し、継続して実施していく。
18	野田村フォトロゲイニング事業	野田村	600,000	400,000	5 市町村事業	3 観光産業	ソフト	村外からの参加者に対して野田村の魅力を知ってもらうことができた。また、村内参加者には、車でしか通らない道や実際に訪れてみることの少ない箇所等、日常生活では知らない野田村の魅力を知っていただくことができた。 今後も村内外の参加者に野田村の魅力を発見・再認識していただくため、継続して実施していく。
19	震災学習モデルコース造成事業	野田村	2,082,638	1,388,000	5 市町村事業	9 防災・危機管理	ソフト	全体として予定どおり事業を実施し、効果に関しては想定を上回る面もあった。 3年間の事業実施を経て、本村の震災学習プログラム「未来の命へ生かす“時速3km”の震災学習」が少しずつではあるが、ある種のブランド力を持ち始めていると感じられる。今後も地道に少しずつブラッシュアップを図りながら、地域振興における位置づけというマクロ視点も忘れずに事業を継続していきたい。
20	十府ヶ浦公園遊具整備事業	野田村	29,065,300	2,240,000	5 市町村事業	12 NPO・コミュニティ	ハード	本事業により新しい遊具を増設したことで、既存遊具の設置効果が促進されるとともに、村内のみならず、村外から多くの親子連れを呼び込み遊んでもらうことで、関係人口の増加や人口減少の緩和につながるものと考えられる。

地域経営推進費 事業評価結果一覧表

21	おおのキャンパス活性化構想策定事業	洋野町	5,417,595	3,611,000	5 市町村事業	3 観光産業	ソフト	おおのキャンパス活性化構想に基づき、魅力的な施設づくりにむけて、できるところから対策を講じるとともに、令和7年度の基本計画策定に取り組むなど、評価と振り返りを継続して行う。
22	海から紡ぐ洋野町PR事業	洋野町	2,836,384	1,890,000	5 市町村事業	2 食産業	ソフト	海洋環境の変化による不漁が長引いており、本事業により側面的に水産業の支援ができたと考える。また、種市高校の7年度入学者も定員割れの見込みであるが、南部もぐりや潜水技術を学べる魅力を引き続きPRし、技術確保と将来の担い手確保につなげたい。 7年度の催事開催地は未定であるが、PR効果を充分考慮のうえ会場を選定し、事業の実効性を高めるよう取り組みたい。
23	二戸まつり「陸奥の土風」再現事業	二戸市	4,500,000	600,000	5 市町村事業	3 観光産業	ソフト	数値目標は達成できなかったものの、昨年度より参加者を増加させることができた。また、再現範囲を拡大するとともに、馬を借用したことで忠実な再現に近づけることができた。
24	漆原木調査事業	二戸市	13,035,000	8,690,000	5 市町村事業	6 農林水産業	ソフト	前回調査箇所及び前回調査以降に植栽した箇所の調査のみならず、調査の過程で新たに漆林を発見することができた。 現在採取可能な原木資源が限られた現状において、実りある情報を得ることができた。
25	二戸市産業活性化促進事業	二戸市	3,000,000	2,000,000	5 市町村事業	2 食産業	ソフト	目標を上回ることが出来たが、イベントの周知不足やPR力が足りず、売上金額が昨年度より落ちているため、より多くの方々に市内産業をPRできるように努めていきたい。
26	レンタサイクル導入事業	軽米町	1,650,000	1,100,000	5 市町村事業	3 観光産業	ソフト	令和6年2月にハイキューの映画が公開されたことにより、令和6年度のファン来町数も増え、夏休みに入った7月以降の休日は自転車全てが貸し出され、配置台数以上の利用があるほどの人気だった。 時間単位での貸し出しを希望する声もあったが、管理が煩雑となることが見込まれるため、来年度以降の利用方法は今年度同様の利用時間内での利用1回あたりの金額を設定する方向で検討している。
27	かるまい文化交流センター開館記念事業	軽米町	11,948,087	7,412,000	5 市町村事業	15 その他圏域の課題解決	ソフト	町の中心的施設である文化交流センターを有効に活用し、賑わいの創出、交流人口の増加を図ることができた。また、町や関係団体以外が主催するイベントも開催されるなど、町全体の活性化が図られている。 次年度以降も、関係団体と連携を図りながら交流センターを活用した事業を展開していきたい。
28	高齢者等ごみ出し支援事業	軽米町	796,454	461,000	5 市町村事業	8 子育て・福祉	ソフト	高齢者や障害者ができる限り住み慣れた地域で自立した日常生活を営むためにも重要な事業であることから、今後も事業の周知等を行いながらサービス利用者の増加を図りたい。
29	地域おこし協力隊移住定住支援事業	九戸村	802,326	534,000	5 市町村事業	12 NPO・コミュニティ	ソフト	地域おこし協力隊の人数に関しては、目標を上回る実績となった。今後も引き続き、村の情報を発信していけるよう、相互協力をしていく。 移住フェアのブース来訪者に関しては目標を下回る実績となった。次年度は集客方法を工夫し、積極的にPRできるようにしていきたい。
30	地域の誇り継承事業	九戸村	3,881,000	2,587,000	5 市町村事業	15 その他圏域の課題解決	ソフト	閉校する5校それぞれがこれまでの歴史を振り返り、思い出を語り合い、郷土愛をさらに深めることができた。記念誌の作成や記念碑の建立など、実施した内容は似ている部分があるが、それでも描かれる内容は各校のオリジナルで作成されており、5校それぞれの特色があった。 この事業により在校生の保護者はもとより卒業生や地域の方々とたくさん話し合いや打合せが開催され、地域の絆がより一層深まった。各校の思い出を胸に新しい歴史をつくっていくという未来に向けた共通意識が、関わったすべての住民に共有できた。
31	スポーツ世代間交流事業	九戸村	2,186,812	1,457,000	5 市町村事業	8 子育て・福祉	ソフト	地域の指導者はお勤めの方がほとんどで、仕事の合間を見て指導していただいているが、毎週定期的な指導時間を確保出来ないというのが現状である。 指導者が不在の時でも、保護者(育成会)の代表者の見守りのもと、子供たちは自主練習を行っているが、大会の引率の場合は大会参加のために指導者の資格が必要な大会もある。 大会引率時に指導者が不在とならないよう指導者の人員増を行い、活動の機会損失を防ぐとともに、指導者の格付けを行い、主となる指導者と補佐的な指導者を配置することで、指導内容を一貫したものとし、活動内容にムラが出ないようにする工夫が必要だと感じた。
32	高齢者に優しい公共交通構築事業	九戸村	1,752,325	1,168,000	5 市町村事業	8 子育て・福祉	ソフト	デマンド交通の利便性向上とタクシー利用の促進を平行して実施したことにより、高齢者の多様なニーズに対応することができた。 デマンドバス利用者数の当初掲げた目標値が、現実から乖離しすぎていたため、達成度が極めて低い数字となってしまった。

地域経営推進費 事業評価結果一覧表

33	中山間地域農業後継者育成事業	九戸村	123,200	82,000	5 市町村事業	6 農林水産業	ハード	納品後である8月上旬から活用し農家巡回の際に利用した。これまで各生産者は温度計による温度管理を行っていたが、サーモグラフィーによりハウス内の温度状況を確認することができ、空調管理により適切な栽培が行えた。今回は中間時期からの使用となったが、翌年以降は通年して計測を行い、高温支障による農作物被害を軽減できるよう取り組んで参りたい。
34	集客交流促進事業	九戸村	2,000,000	871,000	5 市町村事業	3 観光産業	ソフト	実行委員によるSNSを使った事業周知や開催前にタウン誌等に取り上げられるなどしたため、村外からの来客が当初の想定より大幅に増加した。 また、レシートラリーの実施により、来村者がイベント会場に留まらず村中心部を周遊する光景も見られ、九戸村を内外に広く発信する機会となるとともに経済波及効果も絶大だった。
35	一戸町若者地域活性化アクション支援事業	一戸町	3,783,780	2,522,000	5 市町村事業	15 その他圏域の課題解決	ソフト	県立北桜高等学校2年次の総合的探究の時間での伴奏支援については、担当の先生方も不慣れな部分があったため打ち合わせを重ね、介入ポイントの認識確認や生徒の情報共有等を図りスムーズに取り組むことができた。高校の全体発表会では、2年次生徒が取り組んだ成果を報告した。来年度は4月から開始したいと高校から要望があった。 自由に話し合える場の提供については、奥中山地区会場を設けたものの参加者はなかったが、昨年度参加のなかった中学生が1名参加した。周知方法を検討し新規参加者の増に繋げたい。 中高生のマイプロジェクトについては、大学生の伴走支援により計画作成から発表会までやり遂げた。参加者からはマイプロジェクトの活動が進学や就職へ活かされたとの声があった。イベント開催のスケジュール管理や調査依頼の方法については改善部分があるので指導したい。 発表会での観覧者からの意見を来年度に生かしたい。
36	いちのへまるごとフードフェスタ	一戸町	1,493,074	900,000	5 市町村事業	2 食産業	ソフト	好天に恵まれたほか、同日に町内各地でイベントが開催され、相乗効果も相まって昨年度よりも多くのお客様に御来場いただき、良いPRの場となった。地域経営推進費を活用して3年間継続実施することができ、イベントとしても定着しつつあると考えている。今後は、「食」をテーマとして食産業の振興を図ることを継承しつつ、町内事業者の更なる出店を促すとともに、交流人口の増加に繋がられるような事業を検討する。
37	カシオペア地域デジタル人材育成事業	一戸町	235,181	152,000	5 市町村事業	15 その他圏域の課題解決	ソフト	北桜高校CTAの設立が8月だったことから、高校の年間スケジュールが既に決まっており、企業と高校の顔の見える関係を構築するための事業の調整が難しく、全学年を対象とした事業を同日開催することとなった。その中で、1年生については、今後の進路を考えるうえで参考となる講義とパネルディスカッションを開催したほか、企業1社の説明を受ける機会を設けた。2年生及び3年生については、高校卒業後または専門学校や大学卒業後の就職の選択肢となるよう地元企業の説明会を実施した。特にも3年生は既に進路は決定しているものの、進学後の就職や将来のUターンの選択肢に地元企業が入るよう全生徒の参加とした。 事業後には生徒、先生、企業にアンケートを実施した。生徒からは、これまで知らなかった地元企業を知ることができたという声も多く、先生及び企業から継続開催を望む声が多かった。 今回の事業の反省・評価を踏まえ、令和7年度においては、高校の年間スケジュールの中で各学年に適した時期・内容での開催をすることで高校と調整を進めている。 検定等取得支援では、受検者数が予定を大きく下回ったものの、指標としていたITパスポートの受検者数については目標を達成することができた。7年度においてもDXに対応する資格を含め、就職に有利な資格取得を支援したい。
38	クアオルト健康ウォーキング導入事業	一戸町	4,480,720	2,987,000	5 市町村事業	15 その他圏域の課題解決	ソフト	専門機関と連携しながらウォーキングコース候補地の調査を行った結果、奥中山高原及び一戸町総合運動公園の2施設をコース開設の適地として選定することができた。並行して、コース内案内看板制作配置に係る仕様やガイドマップ等の作成を行い、次年度のコース開設に向けての諸準備を進めることができた。 令和7年度はウォーキングコースの認定・開設に向けて、コース内看板の設置やガイドの養成講座の開催等、所要の整備を進めていくとともに、町内外に向けた適切な情報発信を行い、持続可能な健康づくりの推進に向けて取り組んでいきたい。
39	地域連携による餌料海藻確保対策事業	野田村	0	0	5 市町村事業	6 農林水産業	ソフト	洋野町での蓄養ウニの生産量及びその品質の維持・向上のためには、生のコンブの給餌が最適であること、野田村の空き養殖桁の活用により効果的な事業である。また、磯焼けの発生により今後、餌不足が懸念されることから将来的な需要はあるものと考えられる。一方で短期的にみると需要と生産の均衡をとることが難しく、また安定した供給先の大幅な増加が見込まれない限り、生産量の大幅な増加は見込めない。 今後は、野田村の生産した生コンブの給餌効果の検証を通して、優良餌料として需要を喚起できる可能性についての研究も視野にいれる必要がある。

地域経営推進費 事業評価結果一覧表

40	地域連携による餌料海藻確保対策事業	洋野町	843,045	374,000	5 市町村事業	6 農林水産業	ソフト	令和7年度も磯焼けの進行等による餌料不足が見込まれており、事業の継続により餌料海藻の確保と養殖技術の向上に取り組みたい。
41	若年者定着促進事業	二戸市	2,499,200	883,000	5 市町村事業	5 雇用環境の整備	ソフト	二つの成果指標は、いずれも目標達成とはならなかった。しかしながら、参加企業37社のうち高校3年生向け合同企業説明会、高校2年生以下向け地元企PRイベントのどちらにも参加した企業は25社(68%)と3分の2を占めており、本事業に対する地元企業の期待は大きい。 来年度は、日程の見直しなどにより、参加企業、参加者の増を図る。
42	若年者定着促進事業	軽米町	2,499,200	266,000	5 市町村事業	5 雇用環境の整備	ソフト	二つの成果指標は、いずれも目標達成とはならなかった。しかしながら、参加企業37社のうち高校3年生向け合同企業説明会、高校2年生以下向け地元企業PRイベントのどちらにも参加した企業は25社(68%)と3分の2を占めており、本事業に対する地元企業の期待は大きい。 来年度は、日程の見直しなどにより、参加企業、参加者の増を図る。
43	若年者定着促進事業	九戸村	2,499,200	149,000	5 市町村事業	5 雇用環境の整備	ソフト	二つの成果指標は、いずれも目標達成とはならなかった。しかしながら、参加企業37社のうち高校3年生向け合同企業説明会、高校2年生以下向け地元企業PRイベントのどちらにも参加した企業は25社(68%)と3分の2を占めており、本事業に対する地元企業の期待は大きい。 来年度は、日程の見直しなどにより、参加企業、参加者の増を図る。
44	若年者定着促進事業	一戸町	2,499,200	366,000	5 市町村事業	5 雇用環境の整備	ソフト	二つの成果指標は、いずれも目標達成とはならなかった。しかしながら、参加企業37社のうち高校3年生向け合同企業説明会、高校2年生以下向け地元企業PRイベントのどちらにも参加した企業は25社(68%)と3分の2を占めており、本事業に対する地元企業の期待は大きい。
45	「誇れる地域資源を生かした産業・文化・防災」総合情報発信事業	普代村	5,978,784	3,333,000	5 市町村事業	15 その他圏域の課題解決	ソフト	3年目となった本事業では、震災学習の受入数が増え、震災の記憶と教訓を多くに方々に伝えることができた。また、引き続きラジオを活用して、村の旬な話題や伝統文化、村民紹介、イベント情報など、番組やCMを通じて村内外へ情報発信することができた。リスナーメッセージをみると、毎年あるいは毎回聴いていただいた方々も多く、ラジオの活用促進にもつながったと考えられる。
46	ふるさと納税広告動画チラシ作成事業	野田村	954,800	716,000	5 市町村事業	15 その他圏域の課題解決	ソフト	広告事業を行い、多数の方々に「野田村」や「山葡萄ワイン」というものが表示されたことにより、野田村という存在を認識してくれる機会になったと考えられる。今回は、初めての広告事業ということもあり、関東より西方面をターゲットとしたが、関東・中部・近畿地方が反応が良い傾向(寄附に繋がった)があったため、来年度以降の広告事業の際にはその点も踏まえターゲットを絞っていきたい。 ふるさと納税広告ということで、ふるさと納税の寄附額を増やすことはできなかったが、広告のメインとした特産品「山葡萄ワイン」を返礼品として選んでくれる方が増加したことで、野田村の特産品を多くの方に手にとっていただくことができた。 また、今回作成した広告動画は、来年度以降も活用できることから、様々な場面でPRを行うためのツールとして活用していく。
47	地域間交流事業	野田村	615,244	429,000	5 市町村事業	15 その他圏域の課題解決	ソフト	村の取り組みなどを紹介することにより、興味をもってくれた人たちから、「野田村に行ってみたい」との話もあり、交流人口拡大の一助になると思われる。また、どの事業も様々な人たちと対話での交流があり、特産品や取り組みのPRのみならず、交流の深化・発展にもつながるものと考えられる。
48	観光パンフレットインバウンド版データ作成事業	野田村	1,001,000	750,000	5 市町村事業	3 観光産業	ソフト	増加傾向にある外国人観光客の誘客を見据え、インバウンド対策として英語版の観光パンフレットデータを作成したことから、今後の更なる外国人観光客の誘客に活用するとともに野田村の認知度向上を図っていく。
49	塩の道を歩こう会40周年記念事業	野田村	300,000	225,000	5 市町村事業	3 観光産業	ソフト	塩の道を盛岡まで歩いたことで、沿線市町村の方や協力いただいた方など多くの人との関係が生まれ、今後の交流・発展につながるものと考えられる。また、塩の道をさらに掘り下げ、歩ける旧道を増やすことで野田村から内陸までの横トレイル「野田塩ベコの道」を確立させ、歴史・文化・地元出身者にとっての原風景を伝え、体感いただけるコンテンツとなると考える。
50	「のだむら映画祭」開催事業	野田村	988,773	386,000	5 市町村事業	3 観光産業	ソフト	映画を通じ震災の記録・記憶を繋いでいくことができた。また、野田村パエリアお振る舞いなど野田村の取り組み・魅力を知っていただくことができたと感じる。映画を核とし、来年度以降も本イベントを継続・深化していきたい。
51	野田村パエリアプロジェクト	野田村	1,095,600	821,000	5 市町村事業	2 食産業	ソフト	映画祭とのコラボ企画や新聞掲載・SNSを通じ野田村パエリアを村外にPRでき、多くの村民や関係・交流人口への認知につなげることができた。小野寺先生からのアドバイスも参考に、来年度以降も本イベントを継続・深化させていきたい。
合 計			161,749,646	75,619,000				